


ともだち、つくろう♪

はにゅうしりつとしょかん H30-No.1


【ともだち】

「パンダともだちたいそう」
 いりやま さとし/作 講談社 Eパ




「ピーッ」という笛の音とともに はじまる、パンダたちのたのしいたいそう。おにぎり、めがね、だるまさん…。さあ、つぎはなにかな？

「ともだちのやくそく」
 中川 ひろたか/作 アリス館 Eト




わにのカイとうさぎのウーは、別々の学校に行ったせいで、なかなかあえなくて。そこでカイはウーに手紙をかくことに。

「おともだちになってね」
 岡本 一郎/作 金の星社 Eオ




とんがりやまのもりの中に、クマのフーはひとりぼっちですんでいました。「お友だちがほしいなあ」そう思ったフーは、とびきりおいしいケーキを作って、勇気をふりしぼってつり橋を渡っていきました…。

「ともだちになろう」
 ミース ファン ハウト/作 西村書店 Eト




かいじゅうたちが、ともだちといっしょに、あそんで、けんかして、なかなかおもしろい…。たくさんともだちをつくらう！ともだちができたときの、子どものドキドキした気持ちに寄りそうこころ絵本。

「ともだちになろうよ」
 中川 ひろたか/作 アリス館 Eト



おかあさんは、よく「おともだちできた？」ってきくけれど、なんで、ともだちなんかひつよう必要なの？ともだちなんかいらぬい。そんなワニの男の子のところに、ちよっとおませなウサギの女の子がやってきて…。


「ともだちがほしいの」
 柴田 愛子/作 ポプラ社 Eト



ふうこちゃんとはともだちの遊び場「あそび島」の近くに引っ越してきました。でもその仲間にうまく入れません。「ふうこは、友だちがほしいの！」小さな勇気を描いた絵本。


【にゅうえん・にゅうがく】

「ようちえんにいくんだもん」
 角野 栄子/作 文化出版局 Eヨ




3歳の誕生日を迎えたマリちゃん。幼稚園ってどんなところかな？何の遊びをするのかな？どんな行事があるのかな？

「ようちえんにいきたいな」
 アンバー スチュアート/作 徳間書店 Eヨ




ずっと「早く、ようちえんにいきたいなあ」とおもっていたピヨくん。だけど、初めてようちえんにいく前の晩、なんだか胸がどきどきして、こわくなってきて…。

「ほいくえんのいちにち」
 おか しゅうぞう/作 佼成出版社 Eホ




ほいくえん 保育園って、どんなところでしょう？保育園での生活を、時間にそって描きます。

「こぶたほいくえん」
 なかがわり えこ/作 福音館書店 Eコ




まきばにうまれた3びきのこぶた。まいにちまきばをかけまわりおおさわぎ。おかあさんとおとうさんは3びきをほいくえんにいかせるそうだんをします…

「ぼくは一ねんせいだぞ！」
 福田 岩緒/作 童心社 Eボ




この春、1年生になるけんちゃんは、やっと買ってもらったランドセルをせおつて、公園へ出かけました。けんちゃんは、犬のベロと散歩をしようと、ランドセルを木にかけて。

「一年生になるんだもん」
 角野 栄子/作 文化出版局 Eイ




今日はさっちゃんの6才のおたんじょうび。来年の春には1年生です。けんこうしんだん、名前を書くれんしゅう。さあ、1年生になるしたくがはじまります。

「ねえ きいてよ」
 さとう まきこ/作 講談社 Eネ



らいねんしょうがっこう 来年小学校の1年生になるのを楽しみにしている。でも、人に聞かれても、自分の名前がいえません。ころたは一人ですっかり練習をつんで実践へと向かいますが…。

「いちねんせいになったあなたへ」
 江國 香織/作 小学館 Eイ



きょうからあなたは、なりものいりりで、いちねんせい。ようこそ、にぎやかなせかいへ…。日本語って、こんなに面白い！楽しい詩と絵がひとつになった、子ども大人も楽しめる絵本。